

「魚と水」の Web 化について

原 高史

北海道立水産孵化場は、サケ・マス資源、内水面水産資源、及び内水面の環境保全等に関する調査・研究を主な業務とする試験研究機関です。

当場が実施している調査・研究等の成果については、「北海道立水産孵化場研究報告」として、毎年 1 回取りまとめの上発行してきておりますが、これについては、かなり専門的な内容のものとなりがちであることは否めません。

このため当場では、業務の内容や調査・研究の成果を道民の方々に広く知っていただくため、準研究報告書かつ広報誌としての役割を併せ持つ雑誌「魚と水」を、昭和 43 年に創刊し、以来今日まで毎年 1 回、計 44 号までを発行して参りました。

その内容については、非常に解りやすいと道民の方々からの評価も高く、また前述のとおり広報誌的な性格を持つため比較的「柔らかい内容」にもかかわらず、学術雑誌のほとんどに付与されている ISSN(International Standard Serial Number: 国際標準逐次刊行物番号) が割り当てられているとともに、大学や国立・他府県立水産研究機関所属の研究者の学術論文にもたびたび引用されるなど、高い質を維持してきているところです。

このように、「魚と水」は、これまで当場の業務内容等を理解していただく上で大きな役割を果たしてきましたが、近年、道の財政が厳しさを増す中で、当場としても印刷製本経費の節減を図る必要が生じてきたことや、情報化社会の進展に伴い、各機関・団体や家庭にパソコンが普及し、インターネットの閲覧が容易になってきていることなどから、この印刷・配布を本年 3 月発行の第 44 号をもって終了し、今後は当場のホームページに掲載して、皆様にご覧頂くことといたしました。

この Web 化に伴い、これまでは年 1 回発行であったものを今後は原則として年 4 回ホームページに掲載するとともに、内容についてもより解りやすくかつ質の高い研究成果等のご紹介を行うよう、努力して参りたいと考えております。今後とも、一層のご支援ご協力について、よろしくお願い申し上げます。

(はら たかし : 水産孵化場 場長)

